

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2015年8月10日号 東京発行 NO.220

発行元: 有限会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0686 http://www.taiwannews.jp E-mail: info@taiwannews.jp
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価350円(税込) 定期購読12回: 3,500円(税込) / 24回: 7,000円(税込) ©郵便振替: 00140-4-594168

台湾の朝会議、間に合います。

チャイナ エアライン 羽田発CI223便なら
午前10時に台北着。

「日本・台湾祭り in 上野」 延べ10万人が来場、日本最大級の日台交流が実現

台湾新聞社(本社=東京都豊島区西池袋、錢妙玲社主)主催の「日本・台湾祭り in 上野」が8月1、2日の2日間、上野観光連盟(所在地: 東京都台東区上野、会長: 二木忠男)との共催で、東京・上野恩賜公園噴水前(竹の台広場)にて開催された。両日とも天候に恵まれた猛暑日で、台湾の夏のような陽気となったにも関わらず、2日間で延べ10万人を超える来場者で大盛況。日本最大級の日台交流イベントとなった。

イベントのテーマは「台湾をもっと身近に!」。台湾のグルメや文化、観光、芸能、エンタメなど、多岐にわたる様々な分野を日本で紹介したほか、日本からの出展やステージ出演も募り、台湾と日本の両国が力を合わせてイベントを盛り上げた。来場者は台湾の美味しいグルメを楽しみ、一方でパレードに富んだステージでのアトラクションを鑑賞し、日本に居ながら



日本最大級の日台交流イベント「日本・台湾祭り in 上野」が盛大に開催

して、ながら台湾に滞在しているような空間を楽しんでいた。

2日目の最後のステージプログラム後、主催者の錢社主は「今回の日本・台湾祭り in 上野で日本と台湾が一つになったことがはつきりとわかりました。これからも日台が益々仲良くなるよう、私たちが、そして皆さまも頑張ってください。またこのお祭りの開催の機会がありましたら、応援をよろしくお願いたします」と述べ涙を流した。



台湾新聞社・社主の錢妙玲

開会式には日台各界の重鎮らが列席

日本・台湾祭りは8月1日に開会式が行われ、台東区の服部征夫区長や台北駐日経済文化代表処の沈斯淳代表夫妻、元通商産業大臣の深谷隆司氏、衆議院の

辻清人議員、台北駐日経済文化代表処横浜分処の粘信士処長夫妻、台湾観光協会東京事務所の江明清所長、台北駐日経済文化代表処台湾文化センターの朱文清センター長、台湾貿易センター東京事務所の呉俊澤所長、その他華僑団体各会長ら、企業関係者らなど50人を超える来賓が出席した。



台湾のキャラクターが開会式に花を添えた

日本から台湾へ 気持ちを伝えるパネルを設置

日本人から台湾へメッセージを贈る催しもあった。会場内に設置した特大のパネル「Dear Taiwan From Japan〜私が台湾を好きな理由〜」に、来場者からの手書きのメッセージが数多く寄せられた。パネルには「台湾の愛情いっぱいな家族が好き」「食べ物美味しい」「台湾友人すべてが私の家族だから」「3.11で受けた恩は一生忘れない」「加油台湾」など様々に書き込まれた。このパネルは台湾新聞社と日台の学生芸術団体の日本人との共同で企画・製作されたもの。今後も台湾や日本の様々な場所に展示し、日本人の想いと感謝を台湾へ伝えていく。



溢れんばかりのメッセージが集まった

と期待しています」と述べた。

服部区長は「上野は日本の美しい歴史的風土100選に選ばれている。ここ上野で台湾の伝統文化を紹介して頂くことは大変意義深い事です。これを機会に日台双方の交流と親善を深めていきたい」と祝辞を述べた。また、二木会長と江所長は、日台観光を促進し、相互協力していく意味を込め壇上で固い握手を交わした。

開会記念のテープカット後には、台湾の国民的キャラクター「OPENちゃん」、OPENちゃんの妹「PLEASEちゃん」、台湾を応援する会の台湾の形をした「タイワンダー☆」が登場した。キャラクタ

ー3体の夢のコラボレーションに、一般の来場者も写真撮影をするなど、その人気ぶりを呈していた。



台湾観光協会東京事務所の江明清所長(右)と上野観光連盟の二木忠男会長

TOPIC	
日本語版	
●李登輝元総統が7回目の来日	2面
●密着! 漫才少爺の台湾生活	4面
中国語版	
●毛友次3度連任会長 續領導日中華聯合總會	1面
●台日交流盛會近10万人同樂	4-5面
●日本房屋投資快訊	12面

WEBでもニュース記事が読めます

<http://blog.taiwannews.jp>

2015年度敏送迎会承ります

南国料理で宴会プラン楽しく歓迎迎会!!

予約電話:
(03)5215-2537グローバルな視点で
世界へ未来へ

非鉄金属

OA機器

樹脂事業

アパレル

不動産

ピアノ買取

その他お酒の買取致します。
詳細はお気軽に問い合わせ下さい。

株式会社 登豊商事

東京都三鷹市下連雀3-94-13 フォルクス三鷹川崎

TEL:0422-26-1811

FAX:0422-76-8480

E-mail: info@tohoshoji.com

<http://www.tohoshoji.com/>

宅配利用で速く、
からでも利用OK

パソコン処分したいんだけど・・・
無料 どうすればいいの?

【依頼者にお得情報】
デスクトップSET
ノートPC (液晶割れ不可)
液晶モニター (液晶割れ不可)

↓
QUOor 図書カード
どちらかプレゼント
(事前のご連絡をお願いします)

パソコン

データの破壊サービス付
当社に依頼されたパソコンは全てHDD破壊付です。
ご希望の方は、そ場で破壊致します。

周辺機器・家電

壊れ・古い お引受け致します
解体→分別→再資源なので、ゴミではありません。
家電リサイクル品目 (テレビ・冷蔵庫・洗濯機・ITP)は別途ご相談下さい。

持込ヤード

【その他高価買取します】
非鉄・スクラップ・廃プラ
エア・銅線・給湯器、他

なんでも
ご相談下さい

http://www.shinrikogyo.co.jp

信利工業(株)
(大阪台湾同郷会 会長: 池平美香)
〒593-8312 大阪府堺市西区草部 2009 番地
tel 072-260-3688 fax072-260-3677

EVA AIR
A STAR ALLIANCE MEMBER

オンライン予約 好評発売中!

14日前のご購入で、台北行19,000円~
10月以降の運賃も、さらにお求めやすくなりました!

詳細・ご購入はこちら ▶ evaair.co.jp

日本語のFacebookを開始しました。各種キャンペーンや航空券のおトクな情報も掲載しています!
詳細はこちら: facebook.com/evaairwayscorp.jp

李登輝元総統が総統退任後7回目の来日



国会議員会館で講演する李登輝元総統

台湾の李登輝元総統が7月21日から6日間の日程で訪日を果たした。総統退任後7回目となる訪日だった。李登輝元総統は同22日に国会議員会館で台湾政府関係者として初の講演を行い、23日には日本外国特派員協会で昼食会及び記者会見に参加した。この後、東日本大震災の被災地である福島と仙台を訪れ、同26日には岩沼市の「千年希望の丘」を訪れ、東日本大震災の犠牲者に献花するなどハードスケジュールをこなし、同26日に

無事帰国した。

李登輝元総統の訪日中、テレビ東京が「李登輝元総統と安倍首相が東京都内で極秘で会談した」と報道し、一時騒動となった。これは23日、李登輝元総統の宿泊先で安倍晋三首相が同日朝、葛西敬之JRR東海名誉会長と会食していたことが起因しているとみられる。このことについて安倍首相は、ニッポン放送のラジオ番組で「お会いしていない」と否定。李登輝元総統は23日の日本外国特派員協会での記者会見で「何も言えません」と述べた。

なお、国会議員会館での講演会発起人の自民党・岸信夫議員、秋元司議員によると、李登輝元総統は22日の講演後の質疑応答で、安倍政権が進める安全保障法制について「日本が主体的に安全保障に意識を持つことが、アジア全体の平和につながっていく」と評価したという。

一方、福島訪問については、李登輝元総統が福島を訪れるのは初めてで、以前より訪問を望んでいたという。李登輝元総統は福島県郡山市を訪れ、最先端のがん治療を目指す南東北BNCT研究センターを視察した。同センターには、ホウ素を取り込ませたがん細胞を中性子で破壊する「ホウ素中性子捕捉療法」(BNCT)の装置が設置されており、李登輝元総統は「台湾ではがんによる死亡率が高く、日本が誇る最新のがん治療を見たかった。ぜひ台湾でも導入したい」と話していた。



東日本大震災の犠牲者に献花する李登輝元総統

台湾ウイスキーの「KAVALAN」が東京で試飲会

台湾初のウイスキーメーカー金車股份有限公司(李玉鼎社長、以下:金車)は7月24日、「2015 Kavalan ウイスキー世界巡回試飲会」を東京で開催した。日本での巡回試飲会は上海、フランクフルトに続く3カ国目で年内最後だった。

同会は金車が製造するウイスキー・KAVALANの「ソリスト ビーニョワイン樽 シングルカスクストレンジス」が今年3月にロンドンで開催された世界で最も権威のあるウイスキー賞と言われる「ワールドウイスキーアワード(WWA)」において「ワールド・ベスト・シングルモルト・ウイスキー賞」と「ベスト・アジア・シングルモルト賞」の受賞を記念して開催された。この来日したKAVALAN 主席アドバイザーのジム・スワン氏とKAVALAN 主席ブレンドの張郁嵐氏が、2015 WWA受賞作を含む5銘柄ウイスキーを紹介し、参加者に試飲させるなど、KAVALANの魅力や特徴を詳しく伝えた。

張氏によると、KAVALANは日本に進出してまだ2年目だが、昨年と今年との対比では約20%増という。張氏は「日本と台湾は消費者のメンタリティが似ており、品質を重視する日本人と同様に、KAVALANもまた品質を重視している」と感じている。引き続き日本市場を重視し、多くの日本人に知ってもらうためにPRしていく」と述べた。

また、李社長によると、現在のKAVALAN ウイスキー生産量は年間300万本で、欧州向け輸出高は昨年と今年と比較で35%増と説明。この成長もふまえて年末には750万本に増量する構え。さらに

来年末の生産目標1500万本を目指す。

日本での輸入販売を行う雄山(本社=兵庫県神戸市、加藤泰雄社長)東京支店食品部の大崎卓也課長は「日本でも売り上げは伸びている。今後もKAVALAN ウイスキーの認知度を高めるため、PR活動に力を入れていきたい」と意気込みを語った。

KAVALANの名称は、台湾の台湾北東部の雪山山脈を東に下った場所に位置する「宜蘭」の旧称が由来。製造工場も宜蘭に位置し、雪山山脈の水を使用して、原料から製造まですべてを台湾国内で行うというこだわりぶり。台湾特有のマンゴーなどの亜熱帯フルーツを感じさせる風味や香り、まろやかな口当たりが特徴だ。フルーティーでさっぱりとしているため、食事と取りながらウイスキーを飲むことが多いアジア人にぴったりのウイスキーといえる。

台湾は平均気温が高いことから蒸留酒の製造・熟成が困難と思われがちだが、金車独自の温度管理の自動化システムにより事業化が可能となり、スコットランドから輸入するオリジナルの蒸留釜、アメリカやスペインから入手した貯蔵樽を用いて2005年に蒸留所を設立。2006年からKAVALAN ウイスキーを製造し、2015年までの約10年間という短期間に世界各国で100個以上の賞を受賞している。



左から KAVALAN 主席アドバイザーのジム・スワン氏、金車股份有限公司の李玉鼎社長、KAVALAN 主席ブレンドの張郁嵐氏



独自の温度管理の自動化システムにより短い期間での蒸留酒の製造・熟成が可能に

台湾のキャラクターが日本に本格進出!

台湾のデザイン産業界の育成や支援を目的に2003年に設立したデザイン専門組織の「台湾デザインセンター」は、昨年よりキャラクターなどのデジタルコンテンツにも注力し、このほど日本進出に乗り出した。現在、日本市場が円安になっている経済状況も追い風とみて、日本で開催された展示会に出展し主力のコンテンツなどをPRした。

「デジタルコンテンツは、比較的為替レート変動の影響を受けず、様々な可能性を持っている。台湾でも現に人気のキャラクターが沢山ある。台湾デザインセンターでは、これらをアジア地区でキャラクター産業の最も成熟しているといわれている日本に進出させたい(台湾デザインセンター・崔 慈芳シニアマネージャー)。

台湾のキャラクターの魅力は日本市場に発信するため、台湾デザインセンターは7月1日から3日まで、東京ビックサイト西3ホールにて行われた「第5回キャラクター&ブランドライセンス展(通称:ライセンスジャパン)」に「Fresh Taiwan」ブースとして出展した。同ブースは「Passion」をテーマに、キャラクター産業計10社が出展し、それぞれの台湾発キャラクターをPRした。

なお、10社のうち、「パレーバク(Cherng)」「SONGMEOW」「BYEBYECHUCHU」「迷路」などのキャラクターのマネジメント業務を担当している「HIM International Music」社(以下:HIM社)と、永年マネジメント業に注力し、香港マンガ「老夫子 Old Master Q」、台湾アーティスト Jam Wu(吳耿禎)、Chang En-Tzu(張恩慈)、

emmaAparty などのマネジメント業務を担当している「BIG BIRD Creative」の2社は出展業者に対し、国際ライセンスングに関する知識を事前に提供し、日本への販路開拓を目指したほか、同ブースでは代理業者との商談の場も設けた。

台湾キャラクターをPR ~東京女子流とコラボを約束~

同ブースでは7月1日、メディア向け記者会見が行われ、各出展社のクリエイターらが来日し、自らキャラクターのPRを行った。会場にはHIM社のクリエイター Cherng がデザインした台湾で国民的人気を誇るゆるキャラ「LAIMO(ライモ)」が日本で初披露され、日本のPOPグループの「東京女子流」が応援隊として駆けつけた。

黒のライモTシャツに白のパンツというライモカラーの衣装に身を包んで登場した東京女子流メンバーの山邊未夢・新井ひとみ・中江友梨・庄司芽生の4人(小西彩乃は腰痛のためイベント欠席)は、ライモについて「シャープな目がとてもキュートでかわいらしいなと思います」とコメントしたほか、「これを機にライモくんと東京女子流のミュージックビデオに登場してもらおうなど、コラボレーションしたいですね!」と出演オファーした。これに対し Cherng も快く出演OKし、ライモも大きく頷くジェスチャーをみせるなど、報道陣の前でコラボレーションを約束した。

Cherngは「コラボレーションのオファーはとても嬉しいです。このように日

本のみならず世界に向けて台湾のキャラクターを披露する事で、台湾は小さい国だけでも、デザインの実力があるということを知ってもらえたらいいですね」と話した。

そもそも東京女子流と Cherng との出会いにはFacebook。アジアを視野に入れて活動している東京女子流は、日頃から中国語を学んでいる。その中国語の先生から「今、台湾でライモくんが大人気」ということを聞きつけて Cherng のFacebookにコメントを入れ、Cherng が返事をしたことがきっかけ。その後トントン拍子でこの応援隊になる事が決まったという。

また、崔シニアマネージャーによると、展示会の出展リリースを発表した時点ですぐに渋谷のロフトからHIM社に声がかかり、7月17日から8月9日まで渋谷ロフト5階で、ライモをはじめとしたHIM社のキャラクターグッズが日本で初めて販売される事が決定したという。なお7月18日19日の両日の午後2時より Cherng が同所でイベントを開催した。



LAIMO(左1)の応援隊として東京女子流が駆けつけた

台湾が日本食品輸入緩和を検討も未だ発表無し

台湾が東日本大震災の被災地の食品輸入を禁止している問題で、台湾メディアは7月22日、台湾の衛生福利部食品藥物管理署が規制対象5県のうち、茨城、栃木、千葉、群馬4県の食品の禁輸措置を緩和する方向で検討している事がわかったと台湾メディアが報道した。これについて行政院スポークスマンの孫立群氏は同日、衛生福利部は現在も話し合いの途中とし、台湾の食品藥物管理署(FDA)幹部も同4県について、「全面解禁が部分解禁を検討している」と述べている。また日本交流協會台北事務所

官員は同日、日本側は一刻も早い解禁を望んでいるとし、台湾側との確実な話し合いを続けていくとしていたが、8月5日現在、未だ正式な発表はない。いずれも、残る福島県産については解禁が見送られる見通し。

台湾は震災直後から5県産食品の輸入を禁止。今年5月15日以降、日本から輸入される全ての食品に都道府県別産地証明を、さらに、特定地域の一部食品に放射性物質検査証明の添付を義務付けている。

社員旅行は台湾へ! ~福岡で台湾MICE産業をPR~



「台湾 MICE 産業説明会及び交流会」の講師及びスタッフ一同

台湾貿易センター(以下:TAITRA)福岡事務所は7月1日、福岡市内のホテルにて「台湾 MICE 産業説明会及び交流会」を開催した。福岡県内の旅行代理店及び台湾への社員旅行を検討する企業・団体など約70人が集まった。

同会では旅行代理店の佳安旅行社(TAIWAN TOUR)、コンベンションの企画・運営専門企業(PCO)の匯集国際股份有限公司(Asia Concentrate Corporation)及び兆安国際会議展覧股份有限公司(ABLY Conference & Exhibition Co., Ltd.)、ホテル業の雲朗観光台北君品酒店(パレ・デ・シンホテル)、台湾第3位の広告代理店である雙向明思力公關顧問股份有限公司(MSL Group Taiwan)、航空大手のチャイナエアライン福岡支店などがプレゼンテーションを行った。それぞれ分野の違う立場から、台湾への社員旅行に対する様々な提案がなされた。

台湾の経済部国際貿易局は2009年以降、MICE(Meeting: 会議、Incentive tour: インセンティブ旅行、Conference: 国際会議、Exhibition: 見本市)産業の振興に力を入れている。またTAITRAは現在、経済部国際貿易局の委託を受け、台湾 MICE 産業発展のための4カ年計画「MEET TAIWAN」プロジェクト(2013-2016年)を実施し、海外で台湾 MICE 産業のPRを精力的に行っている。「MEET TAIWAN」プロジェクトの藍淑琪運営副代表によると、昨年は日本からスズキ、アサンテグループ、パナソニック、船井総合研究所などが社員旅行を実施し、日本以外ではペントレー、スタンダードチャータード銀行、エステ

イローダー、フィリップスなどが台湾で大型の社員旅行・インセンティブツアーを行っている。

藍運営副代表は、このことから「台湾の MICE 環境への高い評価が伺える」と指摘するとともに、発達した交通網、フレンドリーな国民性、グルメ、風光明媚な景観などが、海外の企業に台湾への社員旅行を勧める理由だと述べた。

来賓として登壇した台北駐福岡経済文化弁事処の戎義俊後長は「近年台湾の政府は MICE 環境の改善に尽力し、大型イベントの誘致に努めている。統計によると福岡市は国際会議の開催件数で日本第2位であり、MICE 産業の発展に力を入れている」とし、MICE 産業でも日台の提携が期待できると述べた。TAITRA 福岡事務所の林淑恵所長も「福岡市はグローバル MICE 戦略都市に選出され、MICE 産業の発展に力を入れている。アジア全体の MICE 産業の発展のため、台湾と福岡はこれから情報の共有や MICE 人材の交流促進などで、様々な協力ができるのではないかと期待感を示した。



台湾貿易センター福岡事務所 林淑恵所長

台湾公演を目前に宝塚「花組」トップスターが表敬



台北駐日経済文化代表処の沈斯淳代表(中央)と面会した「花組」トップスター「明日海りお」さん(右)とトップ娘役「花乃まりあ」さん(左)

宝塚歌劇団は8月8日より同16日まで、台湾の台北国家戯劇院にて台湾公演を行う。これに先駆けこのほど、主演の「花組」トップスター「明日海りお」さんとトップ娘役の「花乃まりあ」さん、さらに同団専務理事の佐分孝氏、企画室長の村川研策氏が台北駐日経済文化代表処を訪れた。二回目となる台湾公演への意気込みなど、沈斯淳代表を表敬し面会した。

明日海りおさんは「自分たちの初の海外公演という事もあり緊張しています。台湾の皆さんに良い舞台をお届けしたいです。公演まで少し時間がありますので、パフォーマンス

の質を少しでも高められるように現在も頑張っています」と話し、「公演までに台湾の言葉をもっと覚えたいです」と、勉強中とする中国語で挨拶。宝塚トップスターらしいハキハキとした口調を披露した。

また、花乃まりあさんも「台北公演という貴重な経験をさせて頂けることを心から幸せに思っております。宝塚という世界の素晴らしい台湾の方々に伝えられるよう、務めて参ります」と話し、さらに台湾について、「食べ物も美味しい、人もとても温かい素敵なところだと思います」と笑顔で話した。

沈代表は同団一行の訪問に対し、「台湾のファンの方々も首を長くして公演を待ちわびていると思います。今回は14回公演を予定されていますが、いずれの公演も大成功を収められると期待しています。同時に今年には同団成立101周年の大きな節目の年と聞いております。同団の長い歴史に刻むべき素晴らしい舞台になりますよう祈念します」と述べた。

佐分氏によると、第1回台北公演の際は全12回の公演が全て満席となるほどの大

成功を取り、公演終了後も再演を望む声が数多く寄せられたという。これを受け、また、さらなる日台文化交流と両国の絆の深化を願ひ、第2回公演実施を決定したという。

公演では同団の代表作「ベルサイユのばら」より「ベルサイユのばら—フェルゼンとマリー—アントワネット編」と、豪華絢爛の「宝塚幻想曲(タカラヅカファンタジア)」を上演する。明日海りおさんによると、ベルサイユのばらにはプロローグから出演者全員が華やかに歌い踊るレビューが見所という。また、台北公演では特別に、明日海りおさんが台湾民謡「望春風」を、男役キャストらがMayday(五月天)の「OAOA(現在就是永遠)」を、そして全員で黄妃の「追追追」を披露する予定。

なお主演の2人に、前回公演した「星組」の出演者から、「台湾のお客様の歓声や拍手がものすごい熱気に包まれている。そのエネルギーを楽しみにしてほしい」とエールがあり、その雰囲気も伝授していた。

同団一行は8月5日に渡台して同8日に初日を迎える。公演前2週間の時点でチケットは残りわずか(台湾側のチケット販売サイト)となっている。前回と同様に人気の高さがうかがえる。

クリエイティブな台中を東京で発信!

台中市政府文化局(以下:台中文化局)は7月9日より13日まで、東京・芝浦のコミュニティスペース「SHIBAURA HOUSE」にて「2015 Creative Taichung—日本東京国際交流エキジビション」と題した展示会を開催した。同展示会は、今年の9月12日より同30日まで、台中市清水文化センターにて行われる展示会「2015 Creative Taichung」に先駆けて行われたもの。

同展示会では台湾・台中の「下午茶」(午後のお茶会)の文化にフォーカスを当て、モダンと伝統が融合した茶器や菓子器などの工芸品の展示を行った。このほか、伝統的な版画体験ブースや、台中市特産品のお菓子やお茶のテイステイングなどを通じて、台中のライフスタイルを発信した。

全く同じ状況。しかし日本はこれを上手く改善した」とした。そのうえで、「その改善における苦勞を味わった日本の私たちは、状況打破のノウハウを伝授し、台中の皆さんと一緒に考えて行きたい」と述べた。

廣瀬代表によると、日本はいくつか都市が町おこしに成功しており、その町おこしにより工芸品にもスポットが当てられ、古き良きものへの理解が深まっていったという。「工芸品そのものに対してのアドバイスをするのは難しいが、我々は建築や、人が来るための仕組みなど、全体的なところからお手伝いしたいと思っています」(廣瀬代表)。

また、初日の9日には同展示会開催を記念し、開会セレモニーが行われた。同セレモニーには、台中から台中文化局長の王志誠局長、台湾天染工場芸術総監の陳景林氏が来日したほか、同展示会に協力した一級建築士事務所アーキコンプレックスの廣瀬大祐代表、台湾文化センターの朱文清センター長らが出席した。

王局長によると、昨年台中市の市長に就任した林佳龍市長は「台中のクリエイティブな工芸品を生活の中に取り入れ、台中をクリエイティブな生活の街にしていこう(=クリエイティブ台中)」という目標を掲げているという。そして、その「クリエイティブ台中」を海外にも発信するため、台湾と一番生活様態が類似し、お互いの文化に理解がある日本を海外初の展示会の場として選択した。

廣瀬代表は、日本人や、台湾人のインダストリアルデザイン、プロダクトデザイン、ヴィジュアルデザイン、建築および空間デザインを専攻している学生らに対し「台湾独特の午後のお茶文化に関するデザイン」をテーマにワークショップの開催を予定している。

なお、現在廣瀬さんは台中郊外の清水に位置する長屋のリノベーションを担当している。同リノベーションは高齢化が進み、都心へ流れていった人口を、文化の力で呼び戻そうという取り組み。こちらの長屋で開催される9月の「2015 Creative Taichung」で廣瀬代表は、日本人や、台湾人のインダストリアルデザイン、プロダクトデザイン、ヴィジュアルデザイン、建築および空間デザインを専攻している学生らに対し「台湾独特の午後のお茶文化に関するデザイン」をテーマにワークショップの開催を予定している。

王局長によると、昨年台中市の市長に就任した林佳龍市長は「台中のクリエイティブな工芸品を生活の中に取り入れ、台中をクリエイティブな生活の街にしていこう(=クリエイティブ台中)」という目標を掲げているという。そして、その「クリエイティブ台中」を海外にも発信するため、台湾と一番生活様態が類似し、お互いの文化に理解がある日本を海外初の展示会の場として選択した。

王局長は「台中の工芸品には日本統治時代の影響が未だに残っている。日本の皆さんが見ても、どこか懐かしさを感じて頂けると思う」と述べたほか、「これからは、この伝統的な工芸品に新たな息吹を吹き込み、生活の中に取り入れ、そして残していきたい」と目標を語った。

これについて、廣瀬代表は、「台中の工芸品を手に取り触れてみると、台中を訪れた際に感じるおどろかすような雰囲気や伝わってくる。この素敵な工芸品が廃(すた)れないようにしたいが、台中では今、担い手や使い手が少なくなっている。これは20~30年前の日本と

全く同じ状況。しかし日本はこれを上手く改善した」とした。そのうえで、「その改善における苦勞を味わった日本の私たちは、状況打破のノウハウを伝授し、台中の皆さんと一緒に考えて行きたい」と述べた。

廣瀬代表によると、日本はいくつか都市が町おこしに成功しており、その町おこしにより工芸品にもスポットが当てられ、古き良きものへの理解が深まっていったという。「工芸品そのものに対してのアドバイスをするのは難しいが、我々は建築や、人が来るための仕組みなど、全体的なところからお手伝いしたいと思っています」(廣瀬代表)。

廣瀬代表は、日本人や、台湾人のインダストリアルデザイン、プロダクトデザイン、ヴィジュアルデザイン、建築および空間デザインを専攻している学生らに対し「台湾独特の午後のお茶文化に関するデザイン」をテーマにワークショップの開催を予定している。



台中文化局長の王志誠局長(中央)、一級建築士事務所アーキコンプレックスの廣瀬大祐代表(右4)、台湾文化センターの朱文清センター長(左4)ら

台湾の4大学教授陣が草加高校で模擬授業 ~世界の檜舞台で活躍できる人材育成を目指して~

台湾の開南大学の林基煌副学長、國立高雄第一科技大学の許正義国際長、實踐大学の郭壽旺国際長、文藻外語大学の林潔国際長は7月15日、埼玉県草加高校(木田一彦校長)を訪れ、同高校1、2年生の生徒82人及び教職員12人に対し、台湾の大学の模擬授業を英語で行った。同授業は同高校のグローバル教育の一環として、台湾留学サポートセンターの「台湾の大学教授陣により授業提供・表敬訪問」事業を活用したものである。

授業内容は「世界の教育事情」について、

郭国際長は授業内で、「世界はすでにグローバル社会であり、今後行う学習は、異文化コミュニケーションを大切にすべき」と述べたうえで、「そのために、様々な文化を尊重すること。自分自身についてよく知っておくこと。自分のことが好きなら、人も好きになる。そして、柔軟性を持って、海外に出て、行動することも大切である」と力説した。

生徒は台湾の大学教授らの授業を受け、「グローバル社会は、他人事と考えていた。もっと外国語を勉強しなくてはならない気が付いた」、「英語の授業だったので、ほ

んどわからなかった。アジアでは、中華圏の人達がいろいろな国で活躍している。日本人ももっと努力して頑張らなくてはならないと感じた。世界で生きる能力を身に付けていく」などとコメントし、刺激を受けた模様だった。

同高校の木田校長は「世界約70億人の人口のうち、約19億人が中国語を話す人々です。今後は、英語はもちろん、中国語もマスターして、世界の檜舞台で活躍できる。そして、世界のリーダーの育成の基礎づくりを今後も継続していきます」と述べた。

同日わからなかった。アジアでは、中華圏の人達がいろいろな国で活躍している。日本人ももっと努力して頑張らなくてはならないと感じた。世界で生きる能力を身に付けていく」などとコメントし、刺激を受けた模様だった。

同高校の木田校長は「世界約70億人の人口のうち、約19億人が中国語を話す人々です。今後は、英語はもちろん、中国語もマスターして、世界の檜舞台で活躍できる。そして、世界のリーダーの育成の基礎づくりを今後も継続していきます」と述べた。

の際に通訳をお願いしていたのが陳会長だった。今回陳会長から同演奏会のお話を頂いたときには、『もちろん』とお返事させて頂いた」と話し、「日本と台湾は世界で最も固い絆で結ばれている。我々はこれから音楽でもって台湾のお役に立つ事をしたいと思う。今年の秋には台中と高雄に東京音大付属高等学校の高校生と教師が台湾に行つて交流を図る予定」とさらなる日台交流へ意欲をみせている。



大豊小学校オーケストラとCYCNYは合同で演奏

日台米の青少年オーケストラが東京で合同演奏会

日本華商観光協会(陳乃華会長)は7月3日、東京音楽大学A館100周年記念ホールにて「台日米青少年音楽演奏会」を東京で初めて開催した。同演奏会は、東京音楽大学との共催によるもので、日本の東京音楽大学(以下:東京音大)オーケストラと台湾の新北市大豊小学校オーケストラ、ニューヨークのユースオーケストラCYCNYの3楽団が出演した。

第1部では、東京音大オーケストラがモーツァルトやドヴォルザークなどのオーソドックスなクラシックを演奏。会場は弦楽器の美しい音色に包まれた。また、第2部はこの日のために来日した大豊小学校オーケストラとCYCNYが合同で、力強い迫力のある「カルメン第1組曲」や沖繩出身アーティストBIGINの「涙そうそう」、心が躍るような「ディズニーメドレー」、台湾の昔懐かしい「台湾民謡」など、バラエティにとんだ楽曲を演奏した。青少年たちによる大人さながらの演奏に、会場からは「ブラボー」と歓声が上がった。

出演した大豊小学校オーケストラに所属する学生は「とても楽しかった。お客さんも楽しんでくれている様子がわかり

感動した。また日本に来て演奏したいです」とコメントした。

演奏会開催にあたっては、様々な国をまわって音楽交流に奔走する大豊小学校オーケストラとCYCNYの事を聞いた陳会長が「是非東京にも来て頂き、日本の方々や在日華僑らを音楽で癒して欲しい」との思いから招致したという。そのうえで、以前より陳会長と親交のあった東京音大の野本正平副学長(東京音大付属高等学校校長)に「是非一緒に音楽交流を」と呼びかけ、日本、台湾、アメリカ3カ国の団体合同演奏会が開かれる事となった。

陳会長は青少年の音楽交流について「成長過程である青少年を日本に招致したのは、音楽交流以外に日本の「おもてなし文化」と「日台友好の絆」を肌で感じてもらいたかったから。今後も色々な形で文化交流の機会を作り日台の架け橋となるよう精進したい」と語った。

また野本副学長は「東京音大は大分前から台湾の大学と密接な関係を持っている。3年前にも東京音大の吹奏楽が台北、台中、高雄で演奏した。台湾との交流

簡単で効率のよい経理を支援します

大塚会計事務所

起業された方や、J-SaaS(サーズ)やパソコンで会計を始めるとい方へ、毎日の経理処理や経理作業を簡単に効率よく進められるやり方をご支援いたします。

お気軽にご相談下さい

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-12-1 佐伯池袋ビル306
TEL: 03-3985-5730
FAX: 03-3985-5731

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥30,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別)	曼谷 ¥32,000(税別)	新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊
●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

※銀行匯款口座
精通國、臺、日語服務親切
三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店(番)3678888(名義)嘉南観光(株)

營業時間: 週一~五 9:30~18:30 週六 9:30~13:00
TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989
地址: 〒169-0073新宿区百人町2-20-1第二岡田屋ビル401

大鑫産業株式会社

広めよう未来につながるリサイクル社会

大鑫産業株式会社は、不用品や廃棄物のリサイクルを専門とする会社です。

非鉄スクラップ	自動車部品	OA機器	基板	CPU貴金属
---------	-------	------	----	--------

◎電子部品、パソコン関係などの在庫処分にお困りの方は、DAIKINにご相談ください。
◎生基板、トナーカートリッジを買取、リサイクルいたします。

DAIKIN TEL. 0297-30-3308(代表) FAX. 0297-30-3309
本社: 〒306-0515茨城県坂東市宿6464 http://daikin34.com/index.html

密着！漫才少爺の台湾生活

皆さん、漫才少爺(漫才ボンボン)をご存知ですか？彼らは吉本興業のお笑い芸人による「住みますアジア芸人」プロジェクト、台湾担当のコンビ芸人、ハルピンに1年留学経験のある三木重(31才)と、中国語経験ゼロの太田拓郎(30才)。2人は4月下旬より台湾に活動の拠点を移し活動を開始しています。よしもとはなんと「台湾で成功するまで帰って来てはけない」と言われているそう…！台湾新聞はこのほど、台湾で頑張る漫才少爺の2人に1日密着してきました！

お笑いに対して熱心で、台湾のことをすっかり好きになってしまったという2人のリアルな台湾生活をご覧ください!!!

09:30 **おはようございます!**

10:00 朝ごはん
近くのお店で朝ご飯。いつものお店がやっていないので、今日は別の朝食店で。注文は中国語が出来る三木さんが担当。作りたてのサンドイッチ、いただきます!

10:30 台湾のよしもと事務所へ
節約生活のためバスも使わず毎日歩いて向かいます。2人はバラエティ番組「ハックツペリー」に渡されているビデオカメラで毎日の生活を記録

11:00 事務所到着!
「得記(住所:大安區安居街28號)」へ。太田さんは臭豆腐が大の苦手なのに、ここのお店の臭豆腐は食べられるのだとか。得記を経営するご家族とはもうすっかり仲良し!2人も家族の一員です!!

11:30 台湾新聞のインタビュー
よしもとの事務所には「よしもと47ご当地市場」の物産が!

12:30 事務所付近のお弁当屋さんへ
お昼は毎日ここ!注文も慣れた様子。飲み物はお気に入りのドリンクスタンドで購入!三木さんのお気に入り「50嵐」。この店のタピオカミルクティーが1番スキなのだとか!太田さんは「come buy」の海神というお茶を注文。三木さんに頼らず1人で注文してみました。水少なめで頼んだつもりが氷無しで出て来ちゃいました!

13:30 昼食タイム
購入したお弁当とドリンクは事務所近くのおしゃれな華山1914文創園区の休憩スペースでいただきます

14:00 ~ 16:00 語学レッスン開始
毎日色々な台湾人が日替わりで来てくれて言語交換をします。この日は台湾人の学生Miaさん。1対1のレッスンで実際に使える中国語力を高めます。太田さんはさっき間違えてしまったドリンク注文の仕方を復習です!とても熱心!

22:00 帰宅
ケータイを見ているだけに見えますが、実は1日の様子を撮った動画や写真をYoutube用に編集。Facebookにもシェアして日本の皆さんに肌で感じた台湾の情報を発信!!

23:00 就寝
長〜い1日が終了!漫才少爺さん、1日ありがとうございました!

「おやあなな〜」
「おやすみ〜」

「うまい!」

「とうちゃく!」

17:30 台湾のラジオ局「中央電台」さんで挨拶
初めて来た圓山ホテルの豪華な外観、内観に2人は大興奮で写真撮影!

17:00 事務所出発!タクシーで圓山ホテルへ移動

台湾で愛される日本人お笑い芸人に!
漫才ボンボンは元々、「からくりタンバリン」の名で活動していた。三木さん芸歴9年、太田さん芸歴11年。バイトをしながらお笑いライブを中心に活動していたが、テレビ出演の話も少なく、「これでいいのか」と考えていたときに、2人の目に留まったのが「住みますアジア芸人」の募集だった。「台湾には骨を埋めるつもりで来ました。日本に帰る時はお笑いを辞めるとき、位の覚悟があります」(三木さん)。
見事100人の応募の中から台湾代表に選ばれた2人は、4月末より台湾に移住し活動を開始している。太田さんは「来てみたら台湾は本当に良いところで、本当に台湾に住んでうれいんです」と話しており、三木さんも「台湾の皆さんは親切だし、ご飯は美味しいし、住みやすいし…。一番の悩みは台湾人が優すぎることですね」と話す。1日密着していても、2人が台湾に行くことが必然であったかのように、既に台湾に馴染んでいる様子だった。
しかし、仕事の面では2人が日本を立つ前と台湾に来た後でかなりのギャップがあったという。
「最初は、台湾にいったらすぐにテレビに出演したり、取材をうけたりと、忙しい毎日が始まると思っていました。でも台湾に来てみたら、それは全くの間違いで…。」(三木さん)。
「自分たちで一步一步進めないと仕事もない。初心に戻った気分です」(太田さん)。
2人によると、台湾のテレビ番組は日本以上にトークが大切となっており、台湾芸能界で長く生き残っていくためにはどうしても語学が必要だという。三木さんは大学時代に1年間ハルピンに留学経験を持ち、中国語が出来るものの、「中国語でお笑い出来るほどのレベルではない。中国大陸と台湾では発音や言い回しが違うので、台湾の方に注意されることもあり」と、中国語が出来るための悩みがあるようだった。一方、太田さんは中国語は全くの素人。日本語の「あいうえお」に当たる発音記号の「ポモフォ(ウタロコ)」から勉強しており、「相方がボケても僕は突っ込めないし、会話がわからないため、疎外感を感じることもあります」と本音を語ってくれた。とにかく今の課題は語学力というらしい。2人は毎日、ボランティアで来てくれる台湾人と言語交換を行い、日々勉強に励んでいる。
語学以外でも、2人の積極的な学習姿勢はすごい。常にアンテナを張り、色々な事に興味を持ち、一生懸命に台湾を理解しようとしていた。この様子からは、一般のお笑い芸人のイメージとはかけ離れた真面目さと誠実さを感じた。この2人の「台湾を知りたい、理解したい」という気持ちが台湾に伝わり、愛され、活躍していくことに期待したい。

<p>自社賃貸物件 賃貸担当:田口090-6125-1763</p> <p>新検見川 徒歩7分 賃料4万5千円 (ロイヤルハイツ検見川)2LDK 35㎡ 敷金0ヶ月/礼金0ヶ月 管理費0円</p> <p>東向島 徒歩3分 賃料14万2千円 (貸店舗・事務所)70.34㎡ 敷金2ヶ月/礼金0ヶ月 管理費8,000円</p>	<p>売買物件 売買担当 林:080-3441-0936 鍾:090-6163-5588</p> <p>京成稲毛 徒歩11分 賃料3万5千円 (稲毛第二アパート)1R 14.12㎡ 敷金0ヶ月/礼金0ヶ月 管理費0円</p> <p>池袋駅 徒歩10分 4,800万円 (売ビル) 想定利回り 7.0% 1LDK×3戸 3階建 16戸 土地49.23坪</p>
<p>SANTOMI CORPORATION 三富株式会社 東京都知事(1)第93275号</p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸9-6-19 TEL 03-5836-6561 FAX 03-5836-6536</p>	

保険の見直し相談 歓迎!!

あなたに最適な保険が見つかります!

“保険の相談” 無料出張いたします。

(株)リンクサポートグループ (本部)

全国規模展開の専門知識でコンサルティングができる生命保険代理店

14社の生命保険商品を駆使し、お客様のニーズにあったオーダーメイドの保険をお作りします

NN Affac MetLife 楽天 NISSAY

Gibraltar Manulife オリックス生命 MS&AD 三井住友海上あいおい生命

AIG AIG富士生命 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命 MassMutual 東京海上日動あひる生命

MS&AD 三井住友海上 MS&AD あいおいニッセイ同和損保 富士火災

ご自宅・会社・店舗へ訪問してご相談し、最適な保険設計プランをお届けします。お電話、又はメールでご連絡ください。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館20階

【担当】HOSAKA
【直通TEL】090-4748-8335
【本部】TEL: 03-5288-5354
FAX: 03-5288-5359

例えは… 東京海上日動あひる生命の医療保険

続ける1 健康なら払った保険料が戻ってくる“新しいカタチの医療保険”
新発売! 保険料が戻ってくる保険です!

続ける2 一生の医療保険を加入時のお手頃な保険料で
メディカルkit R

続ける3 入院の有無にかかわらず
入院の保障も手術の保障もしっかり!

※詳しい内容は(株)リンクサポートグループ(本部)へお問合せください

Digest News

1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

July



July.4 flumpool 台湾ライブに3000人來場

日本のバンド flumpool が「凡人譜 2015 台北演唱會 flumpool Taiwan Special Live @TICC」と題するスペシャルライブを台北市の台湾国際会議センターで行った。Flumpool の台湾ワンマンライブは3度目。今回は初のホール公演でこれまでの会場より格段に規模が拡大、flumpool の台湾やアジアでの存在感を大きく示

すものとなった。台湾のアーティスト林強の大ヒット曲「向前走」をカバーするなど、現地ファンの心をつかむ演出の連発で会場をひとつにした。そのステージでは感動で泣き出すファンもいたほど。今回のライブでボーカルの山村隆太さんは、「MC をすべて中国語で行なったことも現地ファンを興奮させた」と話していた。

July.7 柯文哲・台北市長、抗日戦争勝利70周年イベントを中止

台湾ではこのところ、抗日戦争勝利70周年の記念行事は「不要」とする声が高まっているなか、台北市の柯文哲市長は「抗日の何を祝おうというのか」と一蹴し、日本が降伏した記念の地とされる「中山堂」で予定されていた記念イベントを中止した。これに対し、6日付の台湾紙・

聯合報は、「連合軍による空襲は、台湾人民ではなく植民侵略者である声が高まっているなか、台北市の柯文哲市長は「抗日の何を祝おうというのか」と一蹴し、日本が降伏した記念の地とされる「中山堂」で予定されていた記念イベントを中止した。これに対し、6日付の台湾紙・

July.8 経済成長の著しいアジア太平洋の100都市に台湾の5都市がランクイン

台湾メディアの報道によると、米シンクタンクのブルッキングス研究所が選んだ、13年~14年に経済成長が最も著しかったアジア太平洋地域の100都市で、台湾から桃園、台中、

台南、高雄、台北の5都市がランクインした。桃園は53位、台中は63位、台南は65位、高雄は66位、台北は68位だった。このほか日本からは11都市が選ばれた。

July.11 タイガーエア台湾が9月1日より高雄-成田線就航

チャイナエアライン系の格安航空会社、タイガーエア台湾は9月1日より高雄-成田線の運航を開始すると発表した。同社の高雄発の日本路線は、大阪(関西)線に続く2番目となる。高雄-成田線は1日1便で、

高雄からは午後3時20分発、東京からは午後0時10分発となっている。また、10日正午から就航を記念した特別運賃の販売も開始された。同社は来年1月を目途に台北-羽田線の開設も目指している。

July.15 台湾銀行と三菱東京UFJ銀行が覚書締結

台湾銀行は東京都内で三菱東京UFJ銀行と業務提携に関する覚書を締結した。台湾銀行は今後、協調融資、貿易金融、人材育成などの分野で協力や交流を深めたいとしている。また、1993年に台北支店を設置している三菱東京UFJ銀行は、製造や

小売、食品などの分野で日本からの投資が見込まれるとして、今年度中に両社の高雄都市に台湾における2つ目の拠点を開設する予定。両行は業務提携を通じ、台湾に進出する日本企業や海外の台湾企業に対するサービスを拡充していくという。

July.17 台湾産マンゴーの輸出量が前年同期比約2倍

行政院農業委員会農糧署は今年1月から6月末までの台湾産マンゴーの輸出量が前年同期比約2倍の3607トンになったと明らかにした。輸出額は4億4000万円(約16億円)に達した。台湾全土のマンゴー栽培面積は1万2000ヘクタール。主に南部の屏東や高雄、台南で生産されている。

台湾産マンゴーの輸出先は10カ国・地域に上り、そのうち中国大陸や日本、韓国、シンガポール向けが総輸出量の9割以上を占める。今年是中国大陸や韓国向けの輸出が伸びており、同署は今年1年間の総輸出量は1万トンを超すの見込みで期待を寄せている。

July.20 永作博美、第17回台北映画祭にて最優秀主演女優賞を受賞

チアン・ショウチョンの監督作「さいはにて〜やさしい香り」と待ちながら〜で主演した永作博美さんが、第17回台北映画祭にて最優秀主演女優賞を受賞した。台湾人以外の受賞者は初。永作の代わりに授賞式に登壇したチアンは「1人の監督にとっ

て1人の優秀な俳優と言語の壁を越えて互いに信頼し合い、心で通じ合

July.21 台日産業架け橋フォーラム、地方中小企業が医薬協力へ

日台の窓口機関である亜東関係協会と公益財団法人交流協会が後押しする「2015台日産業架け橋フォーラム」が台湾北部の台北市で行われた。今回のフォーラムでは経済部台日産業連携推進オフィス(TJPO)、バイオ医薬産業計画オフ

イス(BPIPO)、三重県庁、三重大学がともに台湾の中米兄弟製薬と日本の万協製薬の提携を後押しし、両社は外用製剤製品の処方設計と製造で協力する内容の覚書を交わした。このフォーラムは今年で2回目。

July.21 デング熱の発生件数、台南市が最多

衛生福利部疾病管制署(以下:疾管署)は、7月14日~20日に報告されたデング熱の発生件数は44件で、そのうち32件は台南市だと発表した。疾管署によると、デング熱は中

南部を中心に感染が拡大。5月1日から7月20日までの累計発生件数は131件で、自治体別では台南市が最多の71件だった。

July.21 中国人観光客の男性操縦するドローンが101に衝突

台北市の台北101の周辺で、中国人観光客の男性が操縦していたドローンがビルに衝突し、墜落した。ドローンの墜落事故は101周辺で6月15、20日にも発生し、松山空港の滑走路付近でも相次いでいる。台湾にはドローンの運航ルールがな

く、交通部はルール策定の検討を含め、対応を協議するとしている。台湾メディアによると、中国人男性はカメラ搭載のドローンを同ビル近くの公園から飛ばして風景を撮影していた。ドローンは35階付近の窓ガラスに激突し、植え込みに墜落した。

July.22 冷凍マグロの体内から大量の覚醒剤

台湾の法務部調査局は日本に輸出されようとしていた冷凍マグロの体内から大量の覚醒剤を見つけた、と発表した。これを受け同局は冷凍業者ら3人を拘束した。調査局によると、覚醒剤を隠したマグロは53匹で、見つかった覚醒剤は計138キロに上り、日本に渡っていれば推定

14億円相当だったという。21日にX線検査で詳細に調べたところ、1匹の腹部に影を発見。切り開くと、くりぬかれた穴にポリ袋に入った覚醒剤が詰められていた。覚醒剤を隠したマグロには青いリボンで目印がつけられていた。

July.27 2015年上半期の日台間旅行者は約260万人

台湾観光協会は交通部観光局の集計による観光統計を発表し、2015年6月単月に日台間を往來した旅行者数は47万4825人で、1月~6月の累計は259万5594人だった。一方、同月の台湾人の出国

者数117万3,516人の内、日本を訪れた台湾人旅行者数は35万6669人、前年同月比31.58%増で、今年2月以来5カ月間連続で、前年同月比2ケタ増を維持した。

July.24 李登輝元総統「尖閣列島は日本のものである」発言で議論

李登輝元総統が訪日の際、「尖閣列島は日本のものである。台湾のものではない」との発言が台湾の与野党国民党内から批判の声を集めた。同党幹部は24日、釣魚台列島は中華民国固有の領土であり、管轄上は宜

だとして主張し、党の立場を明らかにしている朱立倫・新北市長も同日、メディアからの質問に対して「賛同してはいない」と李氏を突き放した。これを受け、来年1月の総統選挙に民進黨幹部から出馬する蔡英文主席も、釣魚台列島(=尖閣諸島)は台湾のもの

July.30 日台の医師会が連携して、緊急時の医療相互支援

日本医師会と中華民国医師会全国聯合会、および国際医療ボランティア団体の台湾路竹医療平和会との間で、災害など緊急時の医療支援で協力する内容の協定をそれぞれ交わした。日本と台湾はこの協定締結により今後、緊急かつ重大な危険を伴う

事件や災害が発生した場合、双方の医師会の指示のもとで緊急医療支援活動ができるようになる。支援を受ける側の医師会は、自国の法律や規定に沿って、派遣される医師の免許や専門技術に関する身分証明許可の取得を支援する。

July.31 歴史教科書の「中国寄り」に高校生ら反発

台湾で改訂された学習指導要領により、高校の歴史教科書の内容が「中国寄り」になるとして高校生らが撤回を要求している問題で、学生らは教育部の敷地内を占拠し、学生や市民数百人が座り込みデモを始めた。また、30日朝には、教育部に侵入

して24日に逮捕された職業学校の元生徒が自宅で自殺していたのが見つかった。これに抗議した学生らは30日夜、立法院の敷地内に一時侵入し、その後は教育部の敷地内に突入した。

台北駐日経済文化代表処・各分処 ~活動内容情報~

日本にある台湾の代表機関である台北駐日経済文化代表処では、在外邦人の保護、ビザの発給、貿易推進、学術・科学技術・文化・スポーツ交流など、大使館や総領事館並の業務を推進しています。ここでは代表処及び各分処の最新情報を毎月お届けしていきます。

駐日経済文化代表処

張博雅・監察院長が監察委員らと訪日視察

張博雅・監察院長をトップとする視察院訪日団は、台湾政府が推進する国際広報業務と託児保育政策に関する調査研究の視察のためこのほど訪日した。張院長一行は7月21日、台北駐日経済文化代表処を訪れ、沈斯淳代表および広報関係者に対し、日本における台湾の国際広報の取り組みについて説明した。また、同日、日本の超党派議員による連盟組織の日華議員懇談会(日華懇=平沼超夫会長)との交流会に出席し、平沼会長、衛藤征士郎副会長、古屋圭司幹事長らと意見交換した。このなかで張院長は冒頭、最近台湾の新北市で発生した粉塵爆発

事故で「日本からの医師団派遣及び人工皮膚の寄贈などの支援」に対し、感謝の意を表した。また張院長は、台湾政府が推進する「国際広報の成果」「託児保育関連政策」そして「日台関係の発展」などの理解を深める事が今回の目的であることを説明。日本政府が推進する国際広報の成功事例や日台間の文化交流などについて、日華懇の議員らに尋ねるなど、意見交換した。



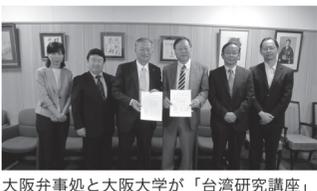
張博雅・監察院長ら代表処訪問

駐大阪弁事処

大阪弁事処と大阪大学が「台湾研究講座」に関する協定締結

大阪弁事処の蔡明耀処長は7月8日、黄冠超教育秘書と、ともに公益財団法人交流協会を訪問し、日台学術交流を促進させるための台湾教育部補助金によるプロジェクト「台湾研究講座(台湾言語文化課程発展プロジェクト)」に関する大阪弁事処と大阪大学の協定書に署名した。蔡処長は署名式で、同大学での学術研究の発展、双方の交流合作、台湾研究の水準向上に期待の意を表した。同時に研究成果を普及させ、台湾の現況に対する日本学界の認識を深めたいとした。同大学外語学部の東原彰学部長及び大学院言語文化研究科の大内一副研究科長は、

台湾の教育部からの援助に対し感謝の意を述べ、その後、台湾と日本の学術交流などについて会談し、理解を深めた。同大学では新学期が始まる10月より、結合台湾研究の学者を結束。研修会や訪台研修旅行などを企画し、台湾の語学文化に対する日本人学生の理解を深めていく。同大学は、日本でも初めて台湾研究講座を設置した国立大学。



大阪弁事処と大阪大学が「台湾研究講座」に関する協定書に署名

駐福岡弁事処

戒処長が久留米大学で講演

福岡分処の戒義俊処長は7月23日、久留米大学比較文化研究所からの招待で「八田與一及び日本精神」と題する講演を行い、日本の青少年を対象に台湾への理解を深めた。戒処長は講演で、八田與一技師の実績と台湾に住んでいる頃の台湾水利基礎建設の貢献及び台湾社会への影響などについて同大学の学生らに説明した。同講演会には約200人の学生が参加し、多くの質問が投げかけられるなど、会場は活発な雰囲気だった。その後、学生自ら制作した曲を演奏し、戒処長に披露した。曲目には地元・久留米の観光を紹介した歌詞のほか、

台湾関連の歌詞も交えるなど、戒処長もてなした。講演会主催者の同大学比較文化研究所の犬野榮次教授は、「戒処長の講演以外にも台湾、そして日台関係について勉強し、機会があれば実際に台湾に行き、台湾の民衆と対話して、双方の国民の友好関係を感じて欲しい」と述べた。



戒処長は久留米大学にて講演した

駐那覇分処

花蓮県副県長ら一行が沖縄を訪問

花蓮県の徐祥明副県長率いる各地区農会幹事及び企業関係者ら一行約30人は7月7日より10日まで沖縄を訪問した。期間中、那覇分処は徐副県長ら一行に同伴し同8日、沖縄県副知事の浦崎唯昭氏を訪問。花蓮県と沖縄県の農産品及び物流などの領域合作交流について意見交換した。徐副県長は同日、台湾大手物流会社「華岡集團」と総合物流業「あんしん」の戦略的パートナーシップ締結式及び記者会見にも出席した。同パートナーシップは、中国やベトナムに拠点を持つワングループのネットワークを活用し、中国や東南アジアの貨物を台湾に集

め、沖縄を経由して本土に運ぶ新たな物流ルート構築を。輸送時間や物流コストの削減を可能とし、空荷解消を目指すなど、国際物流拠点としての競争力強化を狙う。同グループは年内にも台湾花蓮県と宮古島か石垣島を結ぶ高速フェリーを就航させ、複数の物流ルートの提案につなげる構えだ。また一行は同9日、那覇市内のホテルにて「花蓮県農特産品交流会」に出席。沖縄県内からは20の企業が出席した。



「花蓮県農特産品交流会」にて挨拶する蘇処長に関する協定書に署名

駐札幌分処

陳処長が「名寄日台親善協会成立総会」で記念講演

「名寄日台親善協会成立総会」が7月17日、北海道名寄市にて開催された。札幌分処の陳冠宏処長夫妻が来賓として出席した。陳処長は総会での記念講演で「名寄日台親善協会」が北海道内17番目の日台親善協会として誕生したことを慶祝。札幌弁事処成立以来台湾と北海道との友好交流が益々加速化している点、そして名寄市が2013年に東京都杉並区と連携して台湾で行われている「中学生親善野球大会」に中学生の野球チームを派遣している事、さらに今年3月に100人余りの名寄市民が台湾映画「KANO」上映会に招待する

等を説明した。また、永年に渡り多方面で日台の友好交流進展に尽力してきている点を強調し、今後「名寄日台親善協会」の活躍の下で双方の絆がさらに深化していく様子を期待を込めた。同会には名寄市加藤剛士市長、北海道議会中野秀敏議員を中心に、「名寄日台親善協会」の法人・個人会員となった現地の各界代表者約80人が出席し、同会終了後の懇親会でも陳処長夫妻と交流を深めた。



「名寄日台親善協会成立総会」にて

駐横浜分処

澎湖県の陳光復県長ら「崑山反射炉世界遺産登録記念大会」に出席

澎湖県の陳光復県長ら一行は7月26日、静岡県伊豆の国市主催の「崑山反射炉世界遺産登録記念大会」に出席するため来日。横浜分処の粘信士処長夫妻も同席した。伊豆の国市の小野登志子市長は今年5月に訪台の際、陳県長を訪問し、市内の国指定史跡「崑山反射炉」が国連教育科学文化機関(ユネスコ)の世界文化遺産に正式登録された際に、祝賀イベントに陳県長を招待すると約束した事から、この約束を果たした格好だ。また、同大会で粘処長は陳県長と静岡県知事の川勝平太知事に対し、「陳県長と川勝知事の活発な交流を期待する」

と述べた。なお一行はこれに先立つ7月23日、僑務顧問の陳木川氏及び東京台湾商工会の蔡翠文理事、澎湖県観光文化振興東京事務所の宮下幸利所長らとともに横浜分処を訪問し、日台地方交流の促進などについて意見を交換した。さらに同25日には静岡県伊豆市を訪問し、藤井武彦町長らと観光発展などに関して意見交換を交わした。双方は今後も引き続き交流を深めたいとしている。



「崑山反射炉世界遺産登録記念大会」にて

Information エンタメ/イベント/日台交流

「Sodagreen(蘇打綠)」が7年振りの来日公演



Sodagreen(蘇打綠)

台湾のバンド「Sodagreen(蘇打綠)」は8月21日、品川ステラボールにてライブ「Sodagreen(蘇打綠)2015 World Tour "Hello Goodbye" in Tokyo」を開催する。蘇打緑の来日は7年振り。同ライブは18:00開場18:30開演。チケットは全席自由の8000円(税込)で、イブラス、ローソンチケットなどで発売中。蘇打緑は、大学の同級生を中心に結成された台湾のアーティスト。彼らは台湾のみならずシンガポール、マレーシア、香港、等アジア各国で大規模なコンサートを行っている。また2014年は結成10周年を迎え、記念コンサートを10都市20公演を行い、約21万人を動員した実績を持つ。問い合わせ→Zeppライブ:03-5575-5170 (平日13:00~17:00)

まると台湾フェアin杉並

「まると台湾フェア」が9月13日、杉並区のセシオン杉並にて開催される。このフェアでは、映画「KANO〜1931海の向こうの甲子園〜」(以下:KANO)の特別上映会が行われ、文筆家片倉佳史さんの講演や元江之翠劇場所属の温明儀さんによる南管についてのレクチャーと実演も催される。このほか、台湾料理キッチンカー、タピオカなどの台湾グルメの出店や台湾特産品の販売コーナー、観光コーナーも設置。なお、「KANO」の上映会は前売り券が500円。当日券は700円。前売り券は杉並区役所1階コミュニティショップにて販売中で電話予約も受付中。問い合わせ→杉並区交流協会:03-5378-8833 (電話受付は平日8:30~17:15)



まると台湾フェアが杉並区で開催

まると台湾フェアが杉並区で開催。このほか、台湾料理キッチンカー、タピオカなどの台湾グルメの出店や台湾特産品の販売コーナー、観光コーナーも設置。なお、「KANO」の上映会は前売り券が500円。当日券は700円。前売り券は杉並区役所1階コミュニティショップにて販売中で電話予約も受付中。問い合わせ→杉並区交流協会:03-5378-8833 (電話受付は平日8:30~17:15)

「アートと都市を巡る横浜と台北」展 開催中

横浜市と台北市の都市間交流事業の一環として「アートと都市を巡る横浜と台北」展が横浜市のBankART Studio NYKにて開催中だ。(会期は2015年7月24日~9月13日【休館日】8月13日~8月18日)。入場料は1000円でカタログ付き。同展は台湾のアーティストらが「異国での生活と制作」に関する作品を展示している。彼らは2005年より10年間継続して、台北市の台北国際芸術村(TAV)と毎年1組ずつ、アーティストを3カ月間派遣し合う交流事業として活動している。交換アーティストインレジデンス(AIR)に参加したメンバー。日本側からも、この交流事業に参加したメンバーらが出展している。詳細はこちら: http://bankart1929.com/archives/279



アートと都市を巡る 横浜⇄台北 (提供:BankART1929)

アートと都市を巡る 横浜⇄台北 (提供:BankART1929) 問い合わせ→BankART1929:045-663-2812

台湾から30人が出演 AYOツアーコンサート

アジア各国からの選抜された若き音楽家で構成されるアジアユースオーケストラ(以下:AYO)はこのほど、東京と大阪で「AYO2015ツアーコンサート」を行う。大阪公演は8月25、26日で、両日ともに大阪国際会議場で開かれ、18時30分に開演される。一方、東京公演は8月28、29日。会場は両日ともに東京オペラシティアンサンホールで、28日は19時開演、29日は18時開演。チケットはチケットぴあ、ローソンチケットなどで購入可能(値段などの詳細はホームページへ)。AYOは、毎年春にメンバーオーディションが行われ、夏季期間の6週間のみの活動を展開する。今年で活動25周年を迎えた。なお今年のメンバーは、103人中30人が台湾人で、オーディション参加12か国中最多だった。台湾では台北と嘉義の公演を予定している。問い合わせ→AYO日本事務局:03-5433-3380



アジアユースオーケストラ 東京公演2015

アジアユースオーケストラ 東京公演2015は19時開演、29日は18時開演。チケットはチケットぴあ、ローソンチケットなどで購入可能(値段などの詳細はホームページへ)。AYOは、毎年春にメンバーオーディションが行われ、夏季期間の6週間のみの活動を展開する。今年で活動25周年を迎えた。なお今年のメンバーは、103人中30人が台湾人で、オーディション参加12か国中最多だった。台湾では台北と嘉義の公演を予定している。問い合わせ→AYO日本事務局:03-5433-3380

日本初*! 選択型・固定利回り不動産投資型リゾートホテル(年6%/年4%) アラマダジャグジーテラス(販売総戸数45戸)好調販売続く

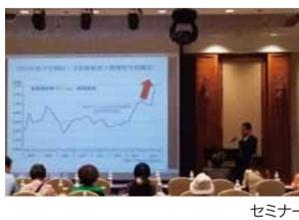


外観

ユニマットグループのグループ会社であるユニマットそよ風を事業主とし、ユニマットプレシヤスがホテル運営及び販売代理を行っている、販売復代理に東急リゾートを迎えた沖縄・宮古島で日本初となる選択型固定利回り不動産投資型リゾートホテル「アラマダジャグジーテラス」の分譲の販売が好調だ。ホテルコンドミニアム形式として、ホテルの

1室をご購入いただき、ホテル運営会社と賃貸借契約を結び、表面利回り6%を10年間保証する、資産運用に特化した「投資型」プランと年間38日間(シーズン毎に日数を設定。トップシーズンで4日間)の優待利用権(シーズンリタイアでの正規料金の60%OFF)と表面利回り4%(10年間保証)をセットした「利用型」プランが選択できる日本初の新しい不動産投資型商品として、4月25日より第1期登録販売(18戸/全44戸)を開始し、好評販売。現在、最終期を先着順にて受付中でキャンセル戸を含め残り4戸となっている。購入者の特性としては富裕層中心。年齢層は幅広いが、投資物件を複数所有している等、不動産投資に対する知見がある人達が多く、6%の「投資型」プランへの比重が高

くなっている。また、1期販売時には台湾でのイベント(タッチ・ザ・ジャパン)でのブース展開及び後日セミナー開催も実施。25組の参加、3組の登録申込があり、台湾の投資家からも評価された。沖縄で初めてSLH(スモール・ラグジュアリー・ホテルズ・オブ・ザ・ワールド)に加盟した「シギラ ベイサイドスイート アラマダ」が隣接しており、ハイシーズンはほぼ満室。14年の年間稼働率も79.2%とリゾートホテルとしては高稼働率を達成。この稼働率が固定保証の礎となっている。ユニマットグループは、宮古島に約100万坪の土地を保有。同地をシギラリゾートとして29年に渡り開発・管理・運営を行い続けており、今後も魅力的なホテル、施設を開発し、世界に誇るリゾートを目指すとともに、今後も利回り保証付の新たな投資用コンドミニアムや新築マンション、宅地などを供給していく予定だ。



セミナー



ジャグジー

※不動産経済研究所調べ/選択型固定利回りのリゾートホテル分譲商品は日本初となります。(調査対象:投資用ワンルームマンション供給デベロッパー/リゾートマンション供給デベロッパー)なお、不動産経済研究所が利回りを保証するものではありません。

台湾語で もっと台湾

台湾では中国語の他に、台湾語も広く使用されています。台湾特産の言葉を覚えて台湾への理解を深めよう!

夏休み編

台湾語:ジョ ロア

日本語:とても暑いです

中国語:ヘン ルー(很熱)

台湾語:ジョ ツイ ダア

日本語:のどが渴きました

中国語:ヘン クー(很渴)

台湾語:シュン ベツ ジャ ツァア ピン

日本語:かき氷が食べたいです

中国語:シャン ヤオ チー ツァア ピン (想要吃刨冰)

※台湾語は地域により様々な言い回しがあります。同コーナーでは一般的によく使われる台湾語をカタカナで紹介しております。

Hotel Breeze Bay Marina Annex Condominium advertisement. Features: 32.85sqm, 1,270万円, 5.8% fixed return, 4.8% fixed return. Includes floor plans and contact info for Shigira Owners Club.

2015年8月 ボルテックス 特選「区分所有オフィス」!! 売主につき手数料0円. Listings for VORT箱崎, VORT芝浦Water Front, VORT麻布イースト, and 安田神保町マンション. Includes floor plans and prices.

メルマガ会員募集中! 株式会社ボルテックス Vortex. Recruitment for members. Includes website URL and contact info.

台湾人百人百色

父の思いを歌で綴る 陳鈺勇さん 文:林雅行(映画監督)

第八回

台湾で活躍する日本人テレビ司会者 - MATSU

山あいへばりつくように家が立ち並ぶ九份。茶芸館や土産品を巡るのは九份観光の楽しみだが、少しはずれた山には小さな家のようなものがびっしり立っている。観光客の目には入らないが、多くは九份の鉱夫たちの墓である。もともと九份の街もここで金鉱が発見されてゴールドラッシュに湧き一攫千金の夢を抱いて鉱夫たちが押し寄せたために形成されたのである。

坑道で作業する鉱夫たちは珪肺におかされた。塵で肺が繊維化してしまう。坑道から出たら酒を飲みそのまま路上で寝てしまう。鉱夫たちは短命で、40歳までしか生きられなかった。

陳鈺勇さんの父は珪肺で41歳で命を落とした。現在は42歳の陳さんは、その時まだ12歳だった。

陳さんは「九份の子どもは注射をうつのが上手だ」といった。何のことかと思うだろう。治療の注射を自分でうてない父にかわって子どもが父の腕にうつのが子どもの役割だったからだった。父のかわりに病院に行くと薬を受けると陳さんの兄弟は台北市の学校に通っていた。病気の父にかわって母は仕事に出ている。父と息子だけの時間が長かった。

「父は息をひきとる時、机にふせ頭を上げることができなかった。目にいっぱい涙をためて息を引き取った」と陳さんは父との別れを思い出す。

九份の売店で売られている「礦山音楽故事劇場」というCDアルバムがある。その中に陳さんが作詞した歌がある。「鉱山英雄のための鎮魂歌」と名づけられたその歌は、陳さんが歌手の小高さんに父の話をしてそれに心を動かされた小高さんが作曲した作品

だった。歌詞にはこうある。

ラツパの音が響きわたり
 だら太鼓が打ち鳴らされる
 俺を永遠の家へと誘っているようだ
 鉱山の兄弟たちよ
 俺を見送り来てくれて感謝する
 我らの故郷、九份の土に口づける
 お前らは夕方に降られて、濡れネズミ
 墓地脇のぬかる畦道を歩いていく
 妻よ、お前に明るい未来を
 捧げることができず
 愛するお前を諦めなければならず
 本当に未練が残る
 もし、子どもが尋ねたら
 父さんはミズと仲良しだとでも
 いつてくれ
 振り返ることができない
 一步一步が、はらわたを切り裂くようだ
 前を向け、昔日の英雄たちが、友が、
 たそがれの向こうで俺を待っている。

妻や子を残し世を去る父の無念を陳さんは父の気持ちになって綴った歌である。

父と暮した家には家具はなく、シミのついた壁が印象的だった。

陳さんは現在、民宿を営んでいる。部屋の脇には人工の滝があり、佐びと寂びをきかせたおちついた宿である。

私は陳さんは父や家族と一緒にこんな家で暮らされたかたに違いないと思った。



陳鈺勇さん

ゴールドラッシュは2回あった。

第一次のゴールドラッシュは戦前の1917年の日本時代。基隆の顔家が金鉱、炭鉱を経営し財閥の基盤を作っていく時期だった。2次は、1938年だった。昼夜の採掘が行われ、料理屋や遊廓の灯が遠くからみても不夜城のごとく輝いていた。九份は「小香港」とか「小上海」と呼ばれた。しかしその繁栄の下でどれほどの若い男たちの命が失われたのか。その記録は見当たらない。だが、九份は未亡人の数が台湾で一番多い場所だ、といわれていたという。

日本からの観光客が必ず訪れる九份。台湾の観光パンフには九份の石畳の坂道と茶芸館がのり映画のロケ地、「レトロな街」と強調される。この街が金鉱と共に形成されたことを知る人は少ないほとんど関心が持たれない。

まして鉱夫たちの無念など。私はビールを飲みCDを聴きながら陳さんの話を思い出した時がある。

台湾 街角 経済「つまみ食い」

EPISODE 7

世界が目撃する台湾市場。

日本も台湾も、女性が消費行動の中心である事は確かなようで、台北の百貨店やショッピングモールは多くの女性たちが大きなバッグを持って闊歩しています。そして訪台する多くの日本人が驚くこととして、とくに台北の物価が高いという事です。マンションから、飲食も、アパレルも、雑貨も、なんでも高いのです。これは台湾市場が成熟化し、台湾の中流層に余裕ができ、市中に個人資金が停滞しているからです。当然、世界は台湾人中間層、富裕層に対して、積極的にアプローチをかけてきます。

たとえば今年アウトレットモールの出店が相次いでいます。7月に「LEECO」は台北に4店目をオープンし、今年オープンの台湾林口アウトレットも話題をさらっています。ドラッグストアでは、「日薬本舗」が、すでに台北、新北、桃園、台中、台南、高雄など10店舗以上を展開し、その存在感を強めています。また「Tomod's」「PLAZA TOKYO」も健闘しています。なにしろ海外から化粧品などの輸入は年間200億元を超え、とくに日本製品がその40%を占めています。ファストファッションでは、ユニクロが台湾で大成功を取っていますが、7月に韓国から1000坪を超える大型店「SPAO」「MIXXO」が台北に進出。またス

ウェーデンからの「H&M」も好調で、新規に4店舗を開店します。

外食産業にいたっては、毎月、日本を中心に新店舗の続々とオープンさせるなど、IT、自動車、医療、観光…、様々な分野で、世界は台湾市場を熱い視線で見えています。そして中小企業から大企業までが、台湾市場に乗り込んできます。

こうした潮流は今後も加速して行くことでしょう。海外の企業が参入し、海外のシステムが根付き、海外のブランドが台湾を席巻します。それは台湾の個人マネーが海外に流出することを意味します。また同時に台湾での零細な店舗と庶民文化が喪失して行きます。

台湾は第二の日本になってゆく。

日本が経験したことが、劇的に急激に台湾で起きつつあるのです。日本が日本を喪失し、今頃になって「おもてなし」と言っても、白々しい限りです。すでに日本人は、自宅生花を生けることは少なくなり、日本茶を急須で淹れなくなっています。フラワーアレンジを駅前で購入し、コンビニで購入したペットボトルで日本茶を飲んでいます。ましてや尺八や三味線など和楽器を学ぶ人はいません。三味線より二胡の方が人気があるほどです。

簡 憲幸(新規事業開発コンサルタント)

日本では、四季とか旬が失われ、「秋ナスは嫁に食わずな」といったことわざも無意味です。一年中、ナスが収穫できるのです。旧暦も消え去り、盆と正月以外の民族的な風習は皆無となっています。端午の節句(こどもの日)に粽(ちまき)や柏餅を食べることを日本人は忘れつつあります。若い人の多くはそのことすら知りません。ちなみに粽は中国から伝来したもので、屈原(くつげん)の故事を知らない台湾人はいません。柏餅は柏の木は芽が出てから葉が落ちるので、親から子へのつながりがある「子孫繁栄」を意味しています。こんなこと高齢者以外の日本人は誰も知りません。

伝統と文化あふれる台湾が、自国の文化を失ったみじめな日本ようになってしまっはあまりにも悲しいことです。

台湾には、まだまだ地元のソウルフードが生きています。屋台も健在です。台湾雑貨も豊富です。旧暦での風俗習慣も生きています。原住民族文化や客家文化も人気があります。これらの一部は、台湾商品、台湾ブランド、台湾ソフト、台湾コンテンツ…、として海外へ輸出できるはずで

台湾、日本パーソナリティー講座(2) ~ラジオ・トーク番組から学ぶコミュニケーション術

これまで、台湾や日本のラジオ業界で、パーソナリティーや制作プロデューサーとして活動してきた。さまざまな角度から「トーク番組」に関わってきたが、その中で、トーク番組の司会者としての極意、日常のコミュニケーションシーンでも意識できるテーマについてご紹介する。

ラジオ番組を裏方のミキサーや制作者の立場であるディレクターを務めると、トークの「構造」がよく見えてくる。不特定多数のリスナーが存在するという前提のラジオは、喫茶店や待ち合い室で話している「私的」な話とは異なる。また、講演会やセミナーなどで講演では、聴衆の層や顔や表情が見えるが、ラジオは一方通行型のメディアであり、受け手の反応は見えない。ただ単に「話し好き」「人前で話すのが得意」「講演を何度もやってきた」という経験者がこなせるほどに単純な仕組みではない。

カフェでの「相手」とのトークと、ラジオでの「相手」とのトークを想定しながら、比較を加えていく。1対1のケースを考えてみる。カフェでのターゲットは、無論、相手である。そして、「自分も楽しみたい」という願いも加わる。相手の満足と自分の満足さえ達成すればよい。自分は相手の話を聞き、「相手と話せてよかった」「相手と話せて勉強になった」と満足が高めれば任務完了である。しかし、ラジオでは構造が変わる。ラジオが一番優先すべきは「リスナー」であり、それは「1

対1の会話を、顔の見えない誰か(リスナー)に聞かせている」という構造になる。顔の見えない誰かは、「誰」を想像すればよいのか、という話にもなるが、この場合の「誰」は、もちろん「特定の人物」ではない。

時折、スポーツインタビューなどで「家族」など特定の個人にメッセージを送る選手がいるが、公共放送や公共の舞台において、「特定の人物」をターゲットにするのはふさわしくない。この場合の「誰」は、あくまで感覚的なものになるが「最大公約数の人物」、つまり「聞いているだろう人間数の中で、一番多くを共感させられる数」への意識となる。明確な答えは無いが、男女問わず、老若男女問わず「多くをカバーする」ということを念頭に置かなければならない。となると、1対1でのトーク番組の冒頭で、まず必ずすべきことは何か…。それは、トーク相手の紹介(肩書き、職務内容)ということになる。相手の紹介は丁寧に行わなければならない。たとえよく知った関係であっても、ターゲットは「予備知識のないリスナー」であるわけだから、肩書きや役職、職務内容などは丁寧に説明すべきである。この紹介を置き忘れると、リスナーは完全に取り残されていってしまうことになる。テレビでは「字幕スーパー」という形で、付随的に後のタイミングで肩書きを補足することができるが、ラジオという音声情報では、冒頭の説明、さらにはCMの後や、音楽の後も、肩書きを説明しなすという配慮があつてよい。

台湾近代化の功労者、花蓮開拓の父 第七回 賀田金三郎物語【賀田家の家系】

東京行きを決意した金三郎であったが、当時、山口県の萩から東京というのは、同じ日本でありながら、異国の様な存在だったに違いない。普通に旅に行くのならまだ楽しみが待っているが、金三郎の場合は、あるのはただただ不安のみだったに違いない。

家業を潰してしまったという自責の念と、悔しき、情けなさ、生まれ故郷を去らなければならない悲しさ、未だ目標がみつからない状態で東京へ行く不安、おそらく金三郎は何日も眠れない日々を送ったことだろう。そして迎えた、明治18年(1885年)3月18日、賀田金三郎は、鳥田多門(当時20歳)、松浦虎龍(当時17歳)、香取春助(当時17歳)と共に、萩を出発する事となった。この日は、暦の上で、何事も成就しない日とされている「不成就の日」であった。巷では、この日の旅行、旅立ちを避ける習慣があった。

しかし、金三郎の親戚の長老が「不成就日は不定日の事。運がまだ定まらぬという意味だ。伸るか反るかの運試しに出るには良い日だ」と彼らを励ました。この言葉に金三郎も少しは救われた。

「さすが長老だ。上手く言ったものだ。確かに今のワシにはもう失うものなど何も無い。東京へ行って、何が待ち受けているかはわからないが、もしもワシに運があるのなら、何かを掴める事が出来よう。運がなければ、ワシの人生もそこまでということと自分に対し、必死に励ますように心の中でつぶや

いていた。

彼らを見送る親戚縁者数十名が、今の萩市米屋町から西田町、東田町、唐樋町、御許町、橋本町、椿町を、人力車を連ねて走った。当時の人力車は車軸に鋼鉄の金輪が数個付いており、それだけでなく大きな音がしたが、それが数十台連ねて走ったのだから、街中の人達は何かと皆、戸口に出てきた。そして、彼らの行列を目送ったのであった。言い換えれば、街中の人達が、その意味はわからなかったとしても、彼らの旅立ちを見送ったのである。

一行は、鶯谷にて別れの宴を開き、その後、下関に向かって出発した。金三郎は他の若者達とは違い、萩が見えなくなる「鹿背ヶ坂の涙松」にさしかかった際、何度も後ろを振り返った。

同行の若者達には各々目標があった。鳥田は医学博士、松浦は陸軍大臣、香取は法学博士になるための夢と希望に満ち溢れた上京であった。一方金三郎は、彼らとは全く違い、もう二度と故郷には戻れないかもしれないという気持ちであった。

「これが我が故郷の見納めになるかもしれない」と思うと、金三郎の眼からは自然と熱い物がこみ上げてきた。

いつしか故郷の風景が涙で見えなくなっていた。金三郎は他の若者に気づかれぬよう慌てて零れる涙を着物の袖でふき取った。

つづく
(播磨 治治)

【掲載のお知らせ】連載中「moremore台湾」は都合によりお休みします。



祝!2015直木賞受賞! 台湾生まれ日本育ち、東山彰良の「流」

第153回直木三十五賞(以下:直木賞)の受賞者は台湾出身で日本育ちの東山彰良さんだった。受賞作「流(りゅう)」は直木賞選考委員から「20年に1回の傑作」と絶賛された書き下ろし長編小説。東山さんは初めてのノミネートだった。

受賞作は1975年以降の台湾が舞台。17歳の葉秋生(イエ・チョウシェン)は祖父が殺されているのを発見する。殺人事件を通奏低音に無軌道な秋生の青春を描き、やがて事件は中国の国共内戦の過去につながっていく一大叙事詩。

「このたび第一五三回直木賞をいただくことになりました。この本はわたしが子供時代を過ごした台北の街が舞台になっています。わたしの記憶のなかにある台北はいつも混沌としていて、汚れていて、そして最高に楽しい場所でした。いつかこの街を小説に書いてみたいと思っていたのですが、

やっと果たすことができました。物語の出来栄は読者諸氏の慧眼に委ねるしかありませんが、いつか中国語に翻訳されることを切に願っております。謝々大家!」(東山彰良)

著者の東山さんは1968年台北生まれ。幼少期を台北で過ごした後、9歳で両親と福岡に移り住むが国籍は台湾のまま、中国語名は王震緒だ。福岡市にある西南学院大学を1995年に卒業した後、東山彰良というペンネームで作家活動を開始。2002年「このミステリーがすごい!」大賞銀賞・読者賞を受賞してデビュー。2009年には「路傍」で大藪春彦賞を受賞している。台湾人の直木賞作家は東山彰良さん、邱永漢さん(1955年)、陳舜臣さん(1968年)に続く4人目受賞となった。



東山彰良さん(提供:中央社)

読者プレゼント企画

台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で3名様にサイン付の同書「流」をプレゼント致します!応募方法は、ハガキにこちらの切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(9月中旬に発送予定)。
 ※切:8月25日(消印有効)
 台湾新聞社編集部 〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045

台湾新聞220期 読者プレゼント

応募券



著:東山彰良
 発行所:講談社
 発売日:2015年5月12日
 定価:本体1600円(税別)
 ページ数:408



日本台湾祭りin上野

日本・台湾祭りin上野の会場内は飲食ブースと物販ブース、展示ブースなど約30以上が出展し、台湾の夜の市の様な熱気と活気が溢れていた。飲食ブースでは牛肉麺や魯肉飯、タピオカミルクティー、マンゴーかき氷などの定番台湾グルメはもちろん、日本で食べる機会が少ない麻辣臭豆腐、麵線、肉圓、緑豆湯も販売された。また気象状況も起因したのか、台湾かき氷やタピオカミルクティーは早い段階で売り切れる店が続出するほどの人気だった。さらに物販ブースでは、台湾原住民の小物や台湾独自の調味料やお酒などが販売されたほか、主催者が企画及び制作した「台湾美食 Delicious Taiwan vol.2」も販売された。このほか、子供が楽しめるスーパーボールすくいなどのゲームブースも設置され、大人から子供まで楽しめる充実した内容となっていた。

また、ステージでは台湾でも大人気のキャラクター、OPENちゃんと妹のPLEASEちゃんに加え、エバー航空の客室乗務員の制服を着たハローキティとパイロットの制服を着たディアダニエルが会場でも可愛いダンスを披露し会場を盛り上げたほか、会場内にも数回訪れ、行く先々で来場者からの写真撮影に応じていた。また、台湾を応援する会のタイワンダー☆も訪れるなど、キャラクターの大集合には来場者も釘付けとなっていた。

会場の中央ステージは、1日を通して途切れることなく様々なプログラムが行われた。台湾から来日した台湾原住民による山地舞では、観客を前に呼び込み全員で輪になって原住民の伝統的なお祈りのダンスを踊る場面もあった。原住民の真っ赤な伝統衣装を着た台湾人と日本の伝統的な浴衣を着た日本人と一緒に踊る姿は、日台の友好関係が目に見える形で現れ、なかには感動で涙を流す人の姿も。浴衣で原住民のダンスを踊った女性は、「初めて原住民のダンスを踊りましたが、新鮮でとても楽しく、暑さを忘れてしまいました。台湾人の方々には東日本大震災の際に多くの支援を頂いたことに感謝の気持ちを伝えたいです」と笑顔でコメントした。

台湾から来日した台湾舞藝工隊による「山地舞」では観客も巻き込んで一緒にダンス♪



嘉義火焰舞蹈團は迫力満点！台湾版のベリーダンスにみんな釘付け！



金宇園掌中劇團は日本ではなかなか見られない人形劇「ボテヒ」の現代バージョンを披露。



周東寛

アリス

寒雲

8月末に台湾でライブを控える秋葉原発のアイドル「ALLOVER」も登場。台湾のファン達との交流に期待☆

ハクビ京都きもの学院のブースでは浴衣着付け体験も！台湾人に日本の文化を発信



日本で唯一稼働している麒麟ビールドラフトカーも出展。お祭りといえばビールでしょ！



エバー航空の客室乗務員とパイロットの衣装で可愛くダンス♪これはレア！！



台湾の伝統的な子供の神様「三太子」が流行りの音楽に乗せて踊り、来場者とも記念撮影

台湾料理も勢揃い♪



牛肉麺

暑い中で食べる牛肉麺は格別



麻辣臭豆腐

台湾のソウルフード麻辣臭豆腐は日本人向けに食べやすくアレンジ！



芒果冰

マンゴーかき氷は一番人気☆1日目も2日目も早い段階で売り切れに！



豆花

豆花(ドゥファァー)はお豆腐みたいなほんのり甘いデザート。氷が入って暑い夏にぴったり



刈包

台湾版ハンバーガーがこの刈包(グァーパオ)！とろっとした角煮と香葉が相性抜群

会場には定番の牛肉麺やマンゴーかき氷のほか、台湾で人気の食べ放題の麻辣臭豆腐や、台湾料理の専門店、本格的な台湾料理も食べれば気分は台湾気分♪